

令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発に 係る提案公募の結果

総務省は、令和3年度から新規に実施する電波資源拡大のための研究開発に係る提案公募を令和3年3月16日（火）から同年4月19日（月）まで実施しました。応募のあった提案について外部評価を実施し、その結果を踏まえ、14件の提案を採択しました。

1 概要

総務省では、新たな電波利用ニーズの拡大に対応するため、周波数のひっ迫状況を緩和し、電波の有効利用を目的とした「電波資源拡大のための研究開発」を実施しています。

今般、令和3年度から新規に実施する電波資源拡大のための研究開発について、令和3年3月16日（火）から同年4月19日（月）まで公募を行い、6件の研究開発課題に対して、民間企業等の研究機関から27件の応募がありました。

2 採択結果

「電波利用料による研究開発等の評価に関する会合」での審査結果を踏まえ、別紙のとおり採択しました。

関係報道資料：

- 令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の基本計画書(案)に対する意見募集の結果及び提案の公募(令和3年3月15日)
(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000399.html)

(連絡先)

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 開発係

担当: 皆川検定試験官、野村係長、岡元調査員

電話:(代表)03-5253-5111 (内線)5876

(直通)03-5253-5876

(E-mail) wireless-rd_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「_atmark_」を「@」に変更してください。

令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発

採択結果一覧表

研究開発課題	技術課題		研究機関 (下線は代表研究機関)
安全な無線通信サービスのための新世代暗号技術に関する研究開発	ア	5G等のための超高速・大容量に対応した共通鍵暗号方式技術(高速共通鍵暗号)	株式会社 KDDI 総合研究所、 国立大学法人神戸大学、 公立大学法人兵庫県立大学、 株式会社国際電気通信基礎技術研究所
	イ	5G等のための耐量子計算機暗号の機能付加技術等(耐量子コンピュータセキュリティ技術)	国立大学法人横浜国立大学、 国立大学法人九州大学、株式会社東芝、 国立大学法人東京大学、 国立大学法人大阪大学、 国立研究開発法人情報通信研究機構、 株式会社国際電気通信基礎技術研究所
無線・光相互変換による超高周波数帯大容量通信技術に関する研究開発	ア	テラヘルツ帯 RF 技術	株式会社日立国際電気
	イ	光電気相互変換技術	国立大学法人徳島大学、 国立研究開発法人情報通信研究機構、 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学
	ウ	テラヘルツ波・ミリ波統合ネットワーク技術	株式会社日立国際電気、 学校法人早稲田大学
リアルタイムアプリケーションを支える動的制御型周波数共用技術に関する研究開発	ア	無線リソースの仮想化・動的管理及び遅延保証技術	国立研究開発法人情報通信研究機構、 株式会社国際電気通信基礎技術研究所、 株式会社構造計画研究所、 公立大学法人大阪大阪府立大学
	イ	オンデマンドネットワークスライシング技術	国立研究開発法人情報通信研究機構、 株式会社国際電気通信基礎技術研究所
100GHz 以上の高周波数帯通信デバイスに関する研究開発	ア	高周波数帯における無線システム構成技術	株式会社 NTT ドコモ、 日本電信電話株式会社、 日本電気株式会社
	イ	アンテナ一体型フロントエンド IC 技術	日本電気株式会社
	ウ	高出力送信を可能とする化合物系半導体技術	富士通株式会社

基地局端末間の 協調による動的ネ ットワーク制御に 関する研究開発	ア	高周波数帯 IRS の制御技術	国立大学法人東北大学、 株式会社 KDDI 総合研究所、 株式会社ジャパンディスプレイ、 大日本印刷株式会社
	イ	高周波数帯中継通信端末の協 調制御技術	株式会社 KDDI 総合研究所、 国立大学法人新潟大学、富士通株式会社

※「アクティブ空間無線リソース制御技術に関する研究開発」については、競合関係が成
立しなかったため、再公募を実施している。

令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発に係る提案公募（再公募）の結果

総務省は、令和3年度から新規に実施する電波資源拡大のための研究開発に係る提案公募（再公募）を令和3年5月25日（火）から同年6月25日（金）まで実施しました。応募のあった提案について外部評価を実施し、その結果を踏まえ、2件の提案を採択しました。

1 概要

総務省では、新たな電波利用ニーズの拡大に対応するため、周波数のひっ迫状況を緩和し、電波の有効利用を目的とした「電波資源拡大のための研究開発」を実施しています。

今般、令和3年度から新規に実施する電波資源拡大のための研究開発について、令和3年3月16日（火）から同年4月19日（月）まで公募を行いました。そのうち1件の研究開発課題については、令和3年5月25日（火）から同年6月25日（金）まで再公募を行い、民間企業等の研究機関から4件の応募がありました。

2 採択結果

「電波利用料による研究開発等の評価に関する会合」での審査結果を踏まえ、別紙のとおり採択しました。

関係報道資料：

- 令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の基本計画書(案)に対する意見募集の結果及び提案の公募(令和3年3月15日)
(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000399.html)
- 令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の提案の公募(再公募)(令和3年5月24日)
(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000407.html)
- 令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発に係る提案公募の結果(令和3年6月17日)
(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban09_02000408.html)

(連絡先)

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 開発係

担当:石原検定試験官、野村係長

電話:(代表)03-5253-5111 (内線)5876

(直通)03-5253-5876

(E-mail)wireless-rd_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「_atmark_」を「@」に変更してください。

令和3年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発

採択結果一覧表

研究開発課題	技術課題		研究機関 (下線は代表研究機関)
アクティブ空間無線リソース制御技術に関する研究開発	ア	干渉抑圧と不感地帯対策を両立させるインテリジェント伝搬路制御技術	<u>日本電業工作株式会社</u> 株式会社ブレインズ 菱星システム株式会社
	イ	レイヤ間連携アクセス制御技術	<u>株式会社国際電気通信基礎技術研究所</u> シャープ株式会社